

～まちの話題アレコレ～ 「福間東中学校」

5月31日に、東中ブロックの4校（福間東中・上西郷小・神興小・神興東小）の代表児童生徒による『KIZUNA 会議』が開催されました。

この会議は、昼休みの時間帯に、オンラインで行っているものです。「地域の課題って何だろう？」「自分たちのできるって何だろう？」と考えやアイデアを出し合いました。

そして早速、実践に結びついたので、6月25日に行われた『あいさつ運動』です。

その日の朝は、各小学校の校門前に小・中学生が一緒に並び、元気にあいさつする姿がありました。

2学期も実施予定ですので、地域みなさんも参加されませんか？また、『KIZUNA 会議』で発案のあった「クリーン week」も計画中です！

福間東中学校 教頭 古賀 毅



『東中でのオンライン交流』



『神興東小学校のあいさつ風景』

～歴史探訪 第2回～

宗像地鶏 **旧神興村の古老が語ったあのお話**

- とにかく、昔、お籠り（オコモリ）とか、多かったですもんな。
- やっぱりあれは食生活が悪かったけん、なにか格好つけてから。
- そんな時はやっぱり鶏飯（トリメシ）やなんか炊いてお酒も出て、賑わいよったとでしょうね。
- 鶏を絞めるなんていうことは滅多になかったな。貴重品やったものでしたね。
- ばって、鶏を家でご馳走するというのは、宗像独特のものでしたね。
- 鶏を出すのはよかところ（金持ちの家）やったな。
- 宗像ぐらい鶏料理が多い所はなかった。
「宗像イ行きゃ鶏のすき焼きが食べられる」言うて
- 「宗像地鶏」と言いますか、あれは最高の鶏ですな。
- コーチンのごとあるとはおいしかったですな。黒雌鶏
- 各家におりましたもんね、放し飼いで、ちょっと何かあると、鶏絞めよったな。

「昔語り福間あこのころ」より

江戸時代下期の城戸大庄屋「晴雨日記」には手土産に「たまご」を持参した記録が残っています。また、葬式などでは肉食は避けますが、（筆者の父は）「鶏は「庭野菜」と呼ばれるから食べてよい。」とも言っていました。

身近な鶏は、貴重な蛋白源で、また「かしわめし」や「がめ煮」などの材料として大切にされていました。

（次回は相撲取り「七つ石」です。）

久末 的場文彦

写真で見る部会活動

環境景観部会

小さな行動が地域を変える

（護美拾いで環境美化）

咲かせよう！花と人をつなぐまち

農業体験で食の大切さを知る （取材：樋口英典）



護美拾い



花いっぱい



農園手入れ